

《ヒブ(インフルエンザ菌b型)・小児用肺炎球菌予防接種の受け方》

接種開始月齢	ヒブ(インフルエンザ菌b型)		小児用肺炎球菌	
生後2か月から7か月に至るまで	初回	27日以上の間隔で3回接種 (標準として27～56日の間隔)	初回	27日以上の間隔で3回接種 (標準として生後12か月までに完了)
	追加	初回接種終了後、7か月以上において1回接種(標準として7～13か月において)	追加	初回接種終了後、生後12か月以降に、60日以上の間隔を以て1回接種(標準として生後12～15か月の間)
生後7か月誕生日から12か月に至るまで	初回	27日以上の間隔で2回接種 (標準として27～56日の間隔)	初回	27日以上の間隔で2回接種 (標準として生後12か月までに)
	追加	初回接種終了後、7か月以上において1回接種(標準として7～13か月において)	追加	初回接種終了後、生後12か月以降に、60日以上の間隔を以て1回接種
生後12か月誕生日から24か月に至るまで	1回接種		60日以上の間隔で2回接種	
生後24か月誕生日から60か月に至るまで			1回接種	

＜ヒブ接種回数早見表＞

開始月齢		2か月～7か月			7か月～12か月		12か月～
回数							
1回目		1回目	1回目	1回目	1回目	1回目	1回目
2回目・3回目	12か月未満	2回目 3回目	2回目 3回目		2回目		
	12か月以上		3回目	2回目 3回目		2回目	
追加接種		1回目	1回目	1回目	1回目	1回目	
接種回数		4	3	2	3	2	1

接種間隔: → 27日以上(医師が認めた場合は20日以上) → 7か月以上

《小児用肺炎球菌》 接種回数早見表

開始月齢		2か月～7か月			7か月～12か月		12か月～24か月	24か月～
回数								
1回目		1回目	1回目	1回目	1回目	1回目	1回目	
2回目・3回目	12か月未満	2回目 3回目	2回目 3回目		2回目			
	12か月～24か月未満		3回目	2回目 3回目				
	24か月以上		3回目	2回目 3回目	2回目	2回目	2回目	
追加接種		生後12か月以降	1回目	1回目	1回目	生後12か月以降		
接種回数		4	4	3	3	2	2	

接種間隔: → 27日以上 → 60日以上

《ヒトパピローマウイルス(子宮頸がん)予防接種の受け方》

●ワクチンの種類

子宮頸がんなどの原因となるHPV16型と18型の感染を予防する「サーバリックス」とHPV16型と18型に加え、尖圭コンジローマなどの原因となるHPV6型と11型の感染を予防する「ガーダシル」があります。予約の際は、いずれかのワクチンを選択して、医療機関へお申し込みください。

●接種回数と接種間隔

ワクチンの種類	接種間隔
サーバリックス	初回接種、初回接種から1か月後、2回目接種から5か月後の計3回接種
ガーダシル	初回接種、初回接種から2か月後、2回目接種から4か月後の計3回接種

いずれも同じ種類のワクチンを3回続けて接種する必要があります。片方を接種した後に、別のワクチンを接種することはできません。

2019年1月末現在、ヒトパピローマウイルス(子宮頸がん)予防接種は、積極的に接種を勧奨することを差し控えております。接種を希望する場合は定期接種として受けることができますが、ワクチンの有効性と副反応などのリスクを十分理解したうえで接種するようにしてください。また、接種勧奨を再開する場合は、「広報おおだて」や「市ホームページ」等でお知らせする予定です。